

## 困難を抱えるこどもの支援について

- 1 ヤングケアラーについて
- 2 ヤングケアラー支援について
- 3 今後の課題について

# 関連する法律の変遷から

2013(H25)年	<b>いじめ</b> 防止対策推進法
2016(H28)年	<b>自殺</b> 対策基本法(改正)
2017(H29)年	<b>教育機会確保</b> 法 <small>※義務教育の段階における普通教育に相当する機会の確保等に関する法律</small>
2018(H30)年	児童福祉法(改正)※2020(R2)年も
2021( R2 )年	少年法(改正)
2023( R5 )年	<b>こども基本</b> 法 ※こども家庭庁設置法
2024( R6 )年	子ども・子育て支援法(改正) 児童福祉法(改正) <b>子ども・若者育成支援推進</b> 法(改正) <b>⇒ヤングケアラーを明記!</b>

# 1 ヤングケアラーについて

**ヤングケアラー**とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の介護などを**過度に行っている**と認められる子ども・若者



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守り・声かけ・気づかいなどの情緒的ケアをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



障がいや病気のある家族に代わり、家計を支えるために働いている。



精神疾患やアルコール・薬物・ギャンブルなどの問題を抱える家族の情緒的ケアや周囲との調整などを行っている。



がん・難病のほか慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

# 1 ヤングケアラーについて【社会的背景】

社会的背景	状 況	ヤングケアラーへの影響
<b>少子高齢化</b>	〈2020年〉 65歳以上 <b>28.6%</b> (増加傾向) 15～64歳 <b>59.5%</b> (減少傾向) 出生率 1.33 (減少傾向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアされる側とケアする側とのアンバランスが起きている</li> </ul>
<b>核家族化</b> (世帯人数の減少)	平均世帯人数 1963年 5.00人 2022年 <b>2.25人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアを必要とされた場合、家族一人あたりのケア負担が増大している</li> </ul>
<b>ひとり親世帯の増加</b>	ひとり親世帯数 1990(H2)年 64万世帯 2020(R3)年 134万世帯 母子世帯 〈2020年〉 非正規雇用の割合 <b>42.4%</b> ※父子世帯 平均年間就労収入 <b>236万円 &lt; 496万円</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的に代替えサービスの負担が困難で、ケア負担を抱え込みやすい</li> </ul>
<b>地域のつながりの希薄化</b>	庁内活動参加率 (月に1回程度の参加) 1968(S43)年 70.0% 2007(H19)年 12.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の孤立化につながり、長期化する可能性が高い</li> </ul>

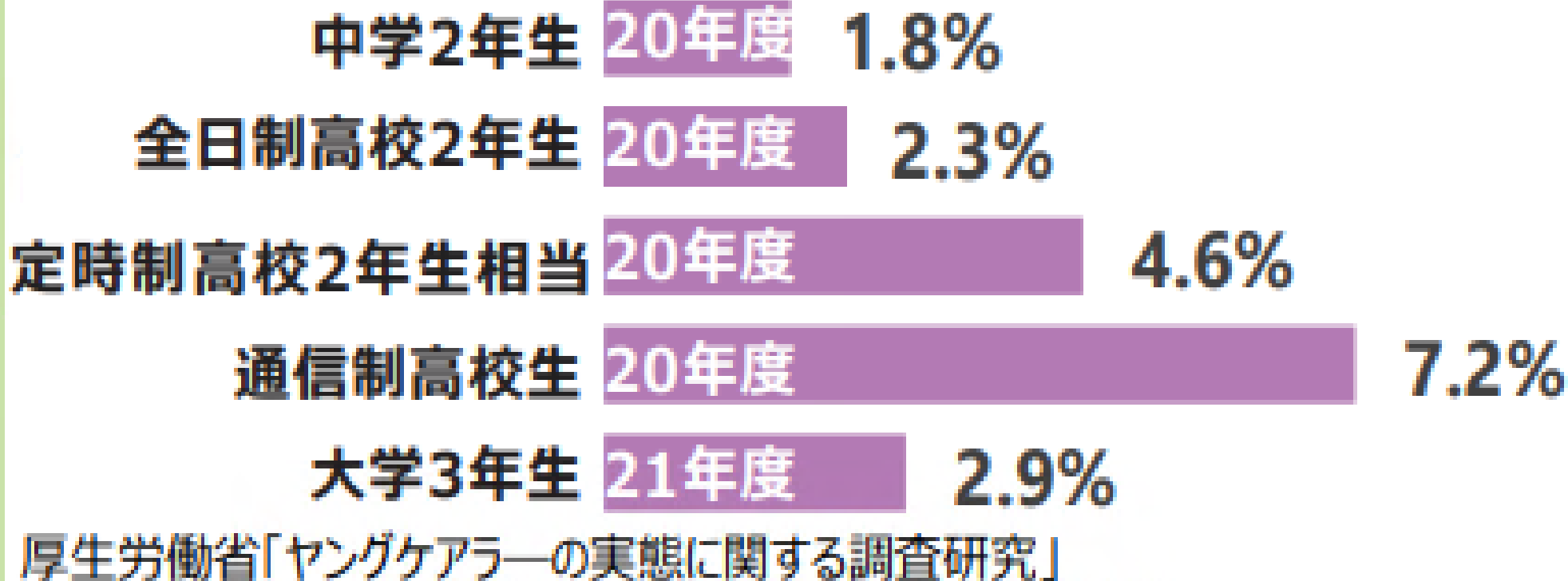
## 1 ヤングケアラーについて【特徴】

- 支援が必要なのに実態やニーズが**表面化しにくい**
- 「**過度なケア**」の**自覚**がない
- 周囲に**SOS**を出しづらい
- 病気や障がい、経済事情等**デリケートな背景**
- ケアを「**当たり前**」「**仕方ない**」と考える

# ヤングケアラー

内閣府 子供・若者インデックスボード

国



**ヤングケアラー支援**はこれからの課題！

支援の実際は・・・？



# 1 ヤングケアラーについて【状況】①

県

長崎県（令和5年度実態調査）より

〈小学生〉

22人にひとり

〈中高生〉

27人にひとり

【県】お世話をしている家族が「いる」と回答した児童・生徒

令和5年度	全体数(人)	該当数(人)	割合
小学6年生	9,226	415	4.5%
中学2年生	8,224	336	4.1%
高校2年生※	6,187	182	4.9%

※高校2年生は、全日制と定時制の生徒。

# 1 ヤングケアラーについて【状況】②

長崎県（令和5年度実態調査） 県福祉保健部こども政策局こども家庭課

## お世話をしている対象及び内容

- ・「**幼いきょうだい**」の「見守り」や「送り迎え」が圧倒的に多い。
- ・「母親」や「祖母」の「心の病気」や「身体障がい」の支え。

## お世話の頻度や1日あたりの平均時間

- ・「**ほぼ毎日**」が最も多い。
- ・平均時間は「1～2時間」と「2～3時間」で半数近くを占める。

## 助けてほしいことや必要としている支援

- ・「**特にない**」が最も多い。
- ・中高生は「学習支援」「将来の相談」を希望する割合が多い。

# 1 ヤングケアラーについて【状況】③

長崎県（令和5年度実態調査） 県福祉保健部こども政策局こども家庭課

## 相談について

- ・相談したことが「ある」という回答は20%程度。
- ・相談相手は「家族」が圧倒的に多く、次いで「友達」「先生」。
- ・相談しない理由は「相談するほどの悩みではない」が圧倒的に多い。
- ・「相談しても何も変わらないから」という回答が10~20%程度。

## ヤングケアラーの認知度について

- ・ヤングケアラーという言葉聞いたことが「ある」という回答は、小学生30%程度。年齢が上がるにつれて上昇。高校生60%。
- ・ヤングケアラーの内容の知識がある人は、高校生で40%未満。

# ヤングケアラーの状況

## 長崎市教育委員会調査



市

R5  
47件

		状 況	小学校	中学校	合計
状 況	1	障がいや病気の家族に代わり、料理、洗濯等の家事	4	7	11
	2	家族に代わり、幼いきょうだいの世話	10	14	24
	3	障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守り	2	6	8
	4	目を離せない家族の見守りや声かけ	3	6	9
	5	日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のための通訳	2	1	3
	6	障がいや病気のある家族がいる家計を支えるための労働	0	1	1
	7	アルコール・薬物・ギャンブル等の問題のある家族への対応	0	3	3
	8	がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病	0	1	1
	9	障がいや病気のある家族の身の回りの世話	1	8	9
	10	障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助	0	2	2
	11	その他	1	4	5
対 応	学校での情報共有と見守り		17	30	47
	保護者への連絡・指導		3	3	6
	関係機関の連携を検討中		0	1	1
	すでに関係機関連携中		8	11	19

※関係機関とは、児童相談所、長崎市子育てサポート課、SSW、医療関係など。（複数選択可）

# 1 ヤングケアラーについて 長崎市【状況】

**市**

令和7年度 長崎市立小・中学校ヤングケアラー実態調査（結果）

小学生	8	合計	33名
中学生	25		
高校生	0		

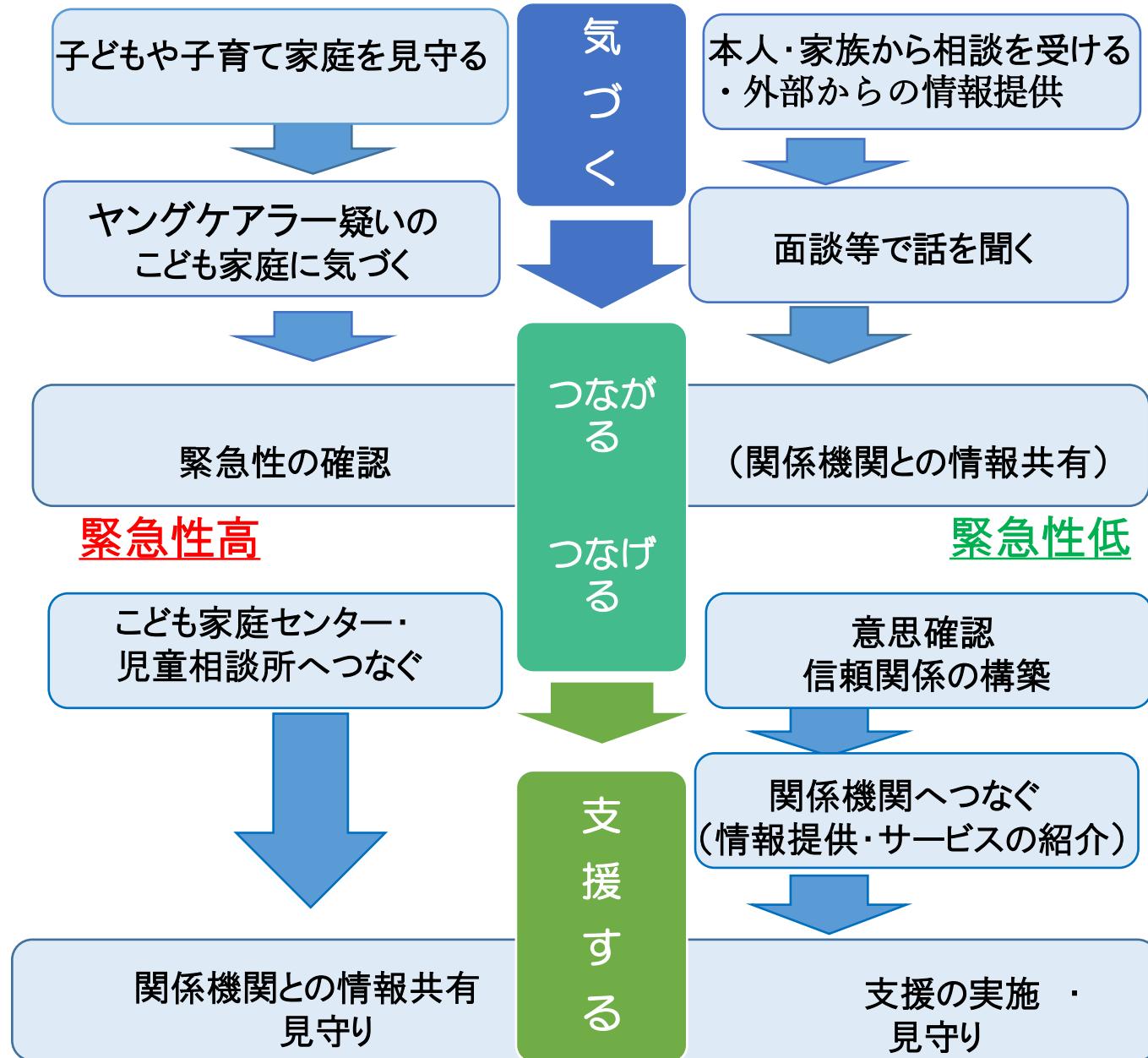
**R7**  
**33件**

学年内訳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
小学生	0	2	1	1	3	1			
中学生							5	10	10

長崎市こども部こどもみらい課こども相談センター  
令和7年度ヤングケアラー実態調査より

# 2 ヤングケアラーの支援について

## ◆ ヤングケアラーの支援フロー



# ◆各支援段階においてSSWに求められる役割と必要な視点について ①

気づく

## ◆ヤングケアラーについての理解

- ・ヤングケアラー支援に関する研修等の受講・実態把握・研究

## ◆学校内の支援体制に関する理解

- ・特別支援・教育相談コーディネーター・養護教諭との連携
- ・定期的な情報共有（部会参加・巡回訪問）

## ◆研修（情報提供）

- ・ヤングケアラーの支援に関する周知・啓発

## ◆適切なアセスメント

- ・ヒアリングシート等ツールの活用
- ・情報収集



# ◆各支援段階においてSSWに求められる役割と必要な視点について②



つながる

つなげる

## ◆関係構築

- ・相談援助技術（バイステックの7原則等）

## ◆権利擁護

- ・個人情報・プライバシーへの配慮

## ◆情報提供

- ・福祉関係の法的根拠・福祉制度の正確な理解
- ・地域の社会資源・事業の理解

## ◆関係機関への連携

- ・関係者との顔のみえる関係づくり

### 丁寧な説明と同意の確認

- ・母親の養育能力（経済力・知的能力）
- ・受援力・コミュニケーション・社会参加）
- ・インフォーマルな支援（家族援助・地域の目等）
- ・本人が持つストレングス理解
- ・本人の気持ちの理解
- ・エンパワメントの視点

# 支援する

## ◆各支援段階においてSSWに求められる役割と必要な視点について③

### ◆関係機関との情報共有

- ・関係機関との定期的な情報共有

### ◆モニタリング

- ・PDCAサイクルによる支援の検討～見直し

(情報共有の円滑化・支援の充実のための定期ケース協議)

### ◆エバリュエーション

**本人・家族の意識・行動の変容を確認**

- ・当事者・家族との面談による振り返り

### ◆終結

- ・ヤングケアラーの状態が改善し健全育成の状態があると確認できる



# 1 ヤングケアラーについて【本市の実例】



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



がん・難病のほか慢性的な病気の家族の看病をしている。

# アセスメントシート

参考資料 1

ヤングケアラーの早期発見・ニーズ把握に関するガイドライン (案)  
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

「ヤングケアラー」の早期発見のためのアセスメントシート

0. 子ども本人の基本情報	
性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他 ( )	要対協登録 種別
年齢 ( ) 歳	

初回作成日 年 月 日
最終更新日

ヤングケアラーとは  
「本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話を日常的に行っている子ども」のことをいいます。

## 1. 本来守られるべき「子どもの権利」が守られているか → 子どもと関わりのある第三者が、ヤングケアラーの可能性のある子どもを発見するために

①健康に生きる権利	②教育を受ける権利	③子どもらしく過ごせる権利
<input type="checkbox"/> 必要な病院に通院・受診できない、服薬できていない ★ <input type="checkbox"/> 精神的な不安定さがある ★ <input type="checkbox"/> 給食時に過食傾向がみられる (何度もおかわりをする) ★ (その他の気になる点) <input type="checkbox"/> 表情が乏しい <input type="checkbox"/> 家族に関する不安や悩みを口に出している <input type="checkbox"/> 将来に対する不安や悩みを口に出している <input type="checkbox"/> 極端に痩せている、痩せてきた <input type="checkbox"/> 極端に太っている、太ってきた <input type="checkbox"/> 生活リズムが整っていない <input type="checkbox"/> 身だしなみが整っていないことが多い (季節に合わない服装をしている) <input type="checkbox"/> 予防接種を受けていない <input type="checkbox"/> 虫歯が多い <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 欠席が多い、不登校 ★ <input type="checkbox"/> 遅刻や早退が多い ★ <input type="checkbox"/> 保健室で過ごしていることが多い ★ <input type="checkbox"/> 学校に行っているべき時間に、学校以外で姿を見かけることがある★ (その他の気になる点) <input type="checkbox"/> 授業中の集中力が欠けている、居眠りしていることが多い <input type="checkbox"/> 学力が低下している <input type="checkbox"/> 宿題や持ち物の忘れ物が多い <input type="checkbox"/> 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い <input type="checkbox"/> 学校 (部活含む) に必要なものを用意してもらえない <input type="checkbox"/> お弁当を持ってこない、コンビニ等で買ったパンやおにぎりを持っていくことが多い <input type="checkbox"/> 部活に入っていない、休みが多い <input type="checkbox"/> 修学旅行や宿泊行事等を欠席する <input type="checkbox"/> 校納金が遅れる。未払い <input type="checkbox"/> クラスメイトとのかわりが薄い、ひとりであることが多い <input type="checkbox"/> 高校に在籍していない	<input type="checkbox"/> 幼稚園や保育園に通園していない ★ <input type="checkbox"/> 生活のために (家庭の事情により) 就職している ★ <input type="checkbox"/> 生活のために (家庭の事情により) アルバイトをしている ★ <input type="checkbox"/> 家族の介助をしている姿を見かけることがある ★ <input type="checkbox"/> 家族の付き添いをしている姿を見かけることがある ★ <input type="checkbox"/> 幼いきょうだいの送迎をしている姿を見かける ★ (その他の気になる点) <input type="checkbox"/> 子どもだけの姿をよく見かける <input type="checkbox"/> 年齢と比べて情緒的成熟度が高い <input type="checkbox"/> ともだちと遊んでいる姿をあまり見かけない <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

## 2. 家族の状況 → 「ヤングケアラー」かの確認

①家族構成 (同居している家族)	
<input type="checkbox"/> 母親	<input type="checkbox"/> 父親
<input type="checkbox"/> 祖母	<input type="checkbox"/> 祖父
<input type="checkbox"/> きょうだい ( ) 人	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②サポートが必要な家族の有無とその状況	
<input type="checkbox"/> 特にいない	
<input type="checkbox"/> 高齢	<input type="checkbox"/> 幼いきょうだいが多い
<input type="checkbox"/> 障害がある	<input type="checkbox"/> 親が多忙
<input type="checkbox"/> 疾病がある	<input type="checkbox"/> 経済的に苦しい
<input type="checkbox"/> 精神疾患 (疑い含む) がある	<input type="checkbox"/> 生活能力・養育力が低い
<input type="checkbox"/> 日本語が不自由	<input type="checkbox"/> その他 ( )
③子どもが行っている家族等へのサポートの内容	
<input type="checkbox"/> 特にしていない	
<input type="checkbox"/> 身体的な介護	<input type="checkbox"/> 生活費の援助
<input type="checkbox"/> 情緒的な支援*	<input type="checkbox"/> 通院や外出時の同行
<input type="checkbox"/> きょうだいの世話	<input type="checkbox"/> 金銭管理や事務手続き
<input type="checkbox"/> 家事	<input type="checkbox"/> 服薬管理・投与
<input type="checkbox"/> 通訳 (日本語・手話)	<input type="checkbox"/> その他 ( )

## 3. ヤングケアラーである子どもの状況 → サポートの実態を確認

①子どもがサポートしている相手	
<input type="checkbox"/> 母親	<input type="checkbox"/> 父親
<input type="checkbox"/> 祖母	<input type="checkbox"/> 祖父
<input type="checkbox"/> きょうだい	<input type="checkbox"/> 家族全体
<input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/>
②子ども自身がサポートに費やしている時間	
1日	時間程度
③家庭内に子ども本人以外にサポートする人がいるか	
<input type="checkbox"/> いる	→ 誰か:
<input type="checkbox"/> いない	

## 4. 子ども本人の認識や意向 → 子ども自身がどう思っているかの確認

①子ども自身が「ヤングケアラー」であることを認識しているか	
<input type="checkbox"/> 認識している	
<input type="checkbox"/> 認識していない	
②家族の状況やサポートをしていることについて、誰かに話しているか	
<input type="checkbox"/> 話している	→ 誰に:
<input type="checkbox"/> 話していない	
③子ども本人が相談できる、理解してくれていると思える相手がいるか	
<input type="checkbox"/> いる	→ 誰か:
<input type="checkbox"/> いない	
④子ども本人がどうしたいと思っているか (想い・希望)	

\* 情緒的な支援とは 精神疾患や依存症などの家族の感情的なサポートの他、自殺企図などの話を聞かされるなど、子どもにとって過大に負担になることなどを含みます



もしかしてヤングケアラーかもしれない  
と思ったら

？ お世話をする頻度はどのくらいですか？

- ① ほぼ毎日 ② 週に3～5日 ③ 週に1～2日 ④ 1か月に数日 ⑤ その他

？ 1日のうち、お世話の時間はどのくらいですか？

(日によって異なる場合、1か月の中で最も長かった日の時間を書きましょう)

平日 (       ) 時間程度 / 休日 (       ) 時間程度

？ お世話をする中でどんなことが大変だと感じますか？

- ① 体力的なこと (寝不足など) ② 精神的なこと (悲しくなるなど) ③ 時間的な余裕がない ④ 特に大変だと感じていない

# ヤングケアラーの発見【気づきのヒント】

	学校生活の様子	他者とのかかわり	家庭に関する情報
学校関係	・ 欠席、遅刻、早退が多い	・ 子ども同士より大人と話が合う	・ 児童生徒からの相談
	・ 不登校である	・ 周囲の人に気を遣いすぎる	・ 家庭訪問や生活ノート等にケアの記載がある
	・ 保健室で過ごしている		・ 保護者が授業参観や面談に来ない
	・ 提出物が遅れがち		・ 幼いきょうだいの送迎をしている
	・ 持ち物がそろわない		
	・ 優等生でいつも頑張る		
	・ しっかりしすぎている		
	・ 服装が乱れている		
福祉・介護・医療	家庭訪問時等の様子		医療機関・窓口等での様子
	・ 子ども・若者が、介護・介助する姿を見かけた		・ 家族構成が、子ども・若者と病気の家族のみとなっている
	・ 子ども・若者が、日常の家事をする姿を見かけた		・ 家族の病状から、子ども・若者にケアの負担がかかる懸念がある
	・ 子ども・若者が、常にケア対象者のそばにいる		・ 子ども・若者が、家族の付き添いで病院等にいる姿を見かける

### 3 今後の課題について

- ヤングケアラーの認識・認知の向上  
⇒ 啓発・教育
- 支援体制の整備・確認・把握  
⇒ 連携（ワンストップ対応）
- ヤングケアラーのウェルビーイングの確保